



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中! <http://yahikosyoublog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

■何に見えますか



皆様は、このイラストは、何に見えますか。じっくり見ていると隠れた顔が見えてきます。見えないようでしたら、お子さんに聞いてみてください。

私は、始業式に全校児童にこの絵を見せながら、改

めて、一人ひとり、見え方、感じ方、考え方が違うことを伝えました。今学期は、「縦割り班遠足」、「音楽発表会」など一人ひとりが、違いを認め合い、尊重しながら、時には、自分の気持ちを我慢し、一つの目標に向かって力を合わせる活動が多くあります。まさに「みんなで創る カラフルな学校」を具現化する機会です。

2学期も1学期同様に、保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合いながら、子どもたちを真ん中においた教育活動を展開していきます。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

■自慢の6年生です



第16回燕市・西蒲原郡小学校親善陸上大会が16校、総勢666人の参加した中、9月12日（火）に行われました。

「弥彦小学校の子どもたちは、足が速いね」という声が、役員をしている方が話していました。観戦していた保護者からも「また、弥彦小が上位」という声も聞かれました。実際、弥彦小学校の子どもたちは、機敏に動けるお子さんが多いです。弥彦小の子どもたちは、休み時間に外でよく遊びます。また、校舎も広く段差も多いため、日頃から足腰が鍛えられているのかも知れません。

オリンピックの陸上競技で9個の金メダルを獲得したカール・ルイス選手は、「It's all about the journey, not the outcome. (大事なのは過程だ。結果ではない)」と述べています。6年生は、日頃から、仲間を大切に、共に励まし合いがんばってきました。その過程が、リレー準優勝につながっていると思います。6年生全員でとった準優勝でした。私は、大会後、6年生全員に競技に向かう姿勢、応援の態度を含め「自慢の6年生です」と伝えました。

■全校ソーシャルスキル教育

今回は温かいメッセージ「励ます言葉」「気遣う言葉」です。全校で先生の演じる良いモデルを見た後、各教室で実際に練習しました。先生の気遣う言葉の演技を見て、子どもたちから自然に拍手が起こりました。各教室でもうれしそうな顔で、お互いに温かい言葉を伝え合う姿が見られました。ご家庭でもぜひやってみてください。

*励ます言葉

「がんばって」、「できるよ」、「その調子」

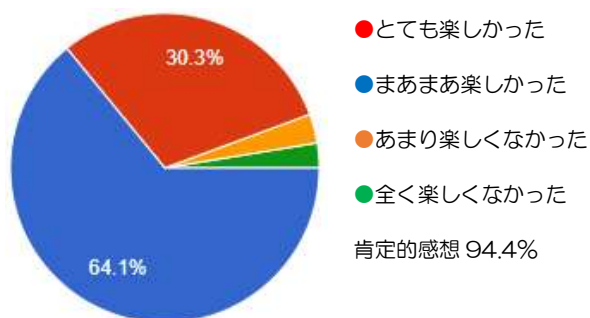
*気遣う言葉

「どうしたの」、「大丈夫?」、「困ってるの?」

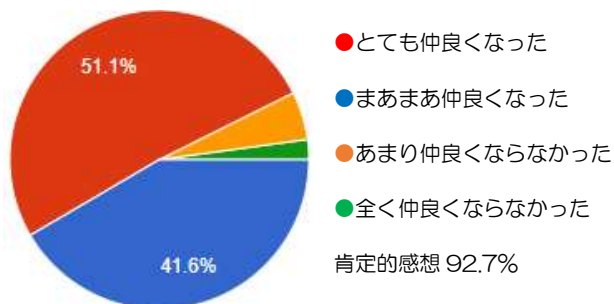
■わかばカラフルウォーク

3年生以上（230人）にわかばフレンズを実施後、アンケートしました。

①カラフルウォークは楽しかったですか



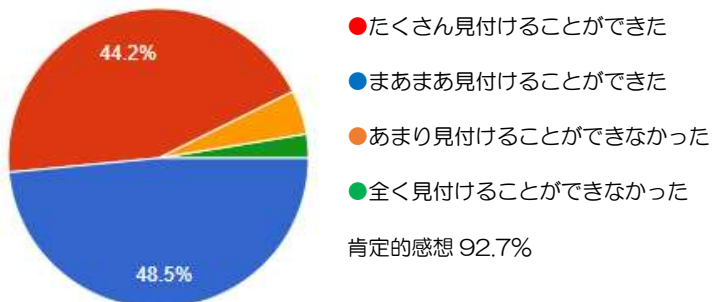
②わかばフレンズの友達ともっと仲良くなれましたか。



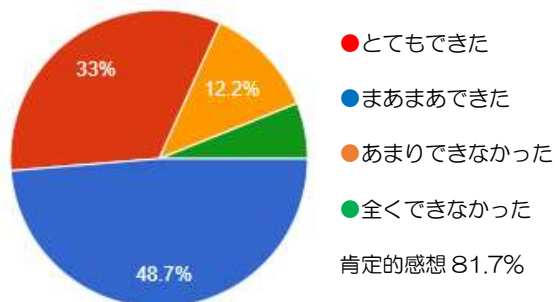
*個人の感じ方なので、全く楽しくないと答えても間違いではありません。

③わかばフレンズの友達の良いところを見付ける

ことができましたか。



④自分の役割をすることができましたか。



●子どもたちが心に残ったこと、感想紹介

- ・わかばフレンズの友達（ちがう学年の人）と遠足をおこなったこと。
- ・わかばフレンズの友達とあそんだこと（お話ししたこと）。
- ・わかばフレンズの友達とお弁当を食べたこと。
- ・わかばフレンズの友達とおやつを食べたこと。
- ・新しい友達ができた。違う学年の人と友達になれた。
- ・スクールサポーターなどの大人の人といっしょにできたこと。
- ・おやつの金額を上げて欲しい。



カラフルウォークのねらいである「わかばフレンズの友達ともっと仲良くなる」、「わかばフレンズの友達の良いところを見付ける」が達成できたと思います。また、大勢のスクールサポーター・保護者の皆様の協力があったことでできた活動でした。紙面を借りて感謝申し上げます。